



ハードウェア リファレンス ガイド

HP Engage Go Convertible System
HP Engage Go Mobile System
HP Engage Go Dock

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

Core および Pentium は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ここに記載されている情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2018年7月

製品番号：L27994-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのシステムでは使用できない場合があります。

Windows のエディションまたはバージョンによっては、一部の機能を使用できない場合があります。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。Windows 10 は自動的に更新され、自動更新は常に有効になっています。更新中にプロバイダー料金がかかったり追加要件が適用されたりすることがあります。<http://www.microsoft.com/ja-jp/default.aspx> にアクセスしてください。

最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP 使用許諾契約 (EULA) の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品 (付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア) を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

このガイドについて

このガイドでは、モバイルシステムの機能およびハードウェアのアップグレードの基本的な作業手順などについて説明します。

-
- ⚠ **警告** : 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意** : 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📌 **重要** : 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この重要事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記** : 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント** : タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 製品の概要	1
標準機能	1
モバイルシステム本体の機能	2
本体に搭載された機能	3
ドックのオプション	3
HP ElitePOS ベーシック I/O 接続ベースの各部	4
HP ElitePOS アドバンス I/O 接続ベースの各部	4
外部電源アダプターの電源への接続	5
モバイルシステム本体の電源ボタンの位置	6
I/O 接続ベースの電源ボタンの位置	6
モバイルシステム本体の調整	7
モバイルシステム本体のシリアル番号の記載位置	8
I/O 接続ベースのシリアル番号の記載位置	8
2 ケーブル配線の構成	9
カラムプリンターおよびベーシック I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System の ケーブル配線図	9
カラムプリンターおよびアドバンス I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System の ケーブル配線図	10
I/O 接続ベースのない HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図	11
I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図	12
ベーシック I/O 接続ベースおよびスタンドアロンプリンターを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図	13
アドバンス I/O 接続ベースおよびスタンドアロンプリンターを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図	14
3 ハードウェアの構成およびアップグレード	15
警告および注意	15
モバイルシステム本体のロックおよびロック解除	16
ドックへのモバイルシステム本体の取り付け	16
ドックからのモバイルシステム本体の取り外し	17
モバイルシステム本体への磁気ストライプリーダー（MSR）の取り付け	17
モバイルシステム本体からの磁気ストライプリーダー（MSR）の取り外し	18
モバイルシステム本体への携帯用ケースの取り付け	18
モバイルシステム本体からの携帯用ケースの取り外し	19

モバイルシステム本体のハンドストラップの交換	20
HP Engage Go Convertible System への I/O 接続ベースの取り付け	21
HP Engage Go Convertible System への単体の I/O 接続ベースの接続	22
I/O 接続ベースの電源供給機能付きシリアルポートの設定	23
I/O 接続ベースへの別売の指紋リーダーの単体としての接続	25
I/O 接続ベースへの別売の指紋リーダーの取り付け	26
カウンターへの HP Engage Go Convertible System の取り付け	27
I/O 接続ベースへのセキュリティ ロック ケーブルの取り付け	29
HP Engage Go Convertible System の支柱へのセキュリティ ロック ケーブルの取り付け	30

4 カラムプリンターの使用 31

標準機能	31
印刷機能	32
レシート用紙を交換するタイミング	32
プリンターのレシート用紙のセット	32
感熱紙の仕様	33
適合する用紙のグレード	33
プリンターのトラブルシューティング	35
プリンターのビープ音および緑色のランプ	35
印刷に関する問題	35
プリンターの動作不良	36
ラッチ フェイルセーフ	37

5 ソフトウェアの設定 38

Windows 10 Professional および Windows 10 IoT Enterprise for Retail でのタッチ スクリーンの調整	38
HP 本体搭載型周辺機器モジュール（別売）の設定	38

付録 A 磁気ストライプリーダー（MSR）での暗号化の有効化 39

付録 B 静電気対策 40

静電気による損傷の防止	40
アース（接地）の方法	40

付録 C 操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意 41

レーザー規定への適合	41
入力電源	41
動作環境	42
操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	42
タッチ スクリーンのメンテナンス	43

MSR のメンテナンス	43
プリンターの清掃	43
I/O ポートの清掃	43
ドライバーおよびファームウェアの更新	43
運搬時の注意	44
付録 D ユーザー サポート	45
サポートされている支援技術	45
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	45
索引	46

1 製品の概要

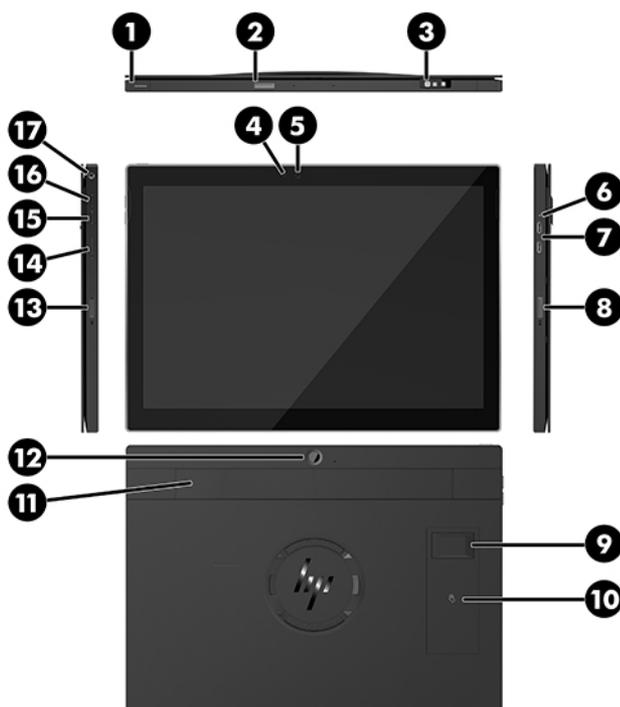
標準機能



標準機能は以下のとおりです。

- カウンターがすっきりして見えるモダンなデザインの薄型システム
- ソフトウェアの表示に優れた 31.2 cm (12.3 インチ) の高解像度の高輝度ディスプレイ
- 本体搭載型バーコードスキャナー（別売）。音および表示によるフィードバック機能を備え、人間工学を考慮して配置されたトリガー ボタンによってシングルおよびデュアルでのハンドスキャンが可能です
- インテル®Pentium®またはインテル Core™プロセッサ、13 時間のバッテリー駆動時間、および HP ファストチャージによる高い生産性
- 持ち運びに役立つハンドストラップが付属
- 自動的に固定される磁石式コネクタの採用により片手での取り付けが可能
- カウンター用マウントキット（別売）
- 回転ドックのためのロープロファイルの電気機械式接続ポイントにより、スマートロックシステムおよび POS 周辺機器への接続が可能
- ロック状態を示すインジケータランプ
- 別売の HP 製周辺機器：
 - ハンズフリーでの小売業務や戸外での長時間使用に適したショルダーストラップ付き携帯用ケース
 - 磁気ストライプリーダー（MSR）（携帯用ケースに搭載）
 - HP ElitePOS ベーシックまたはアドバンス I/O 接続ベース
 - カラムプリンターまたはスタンドアロンプリンター
 - HP ElitePOS 指紋リーダー（I/O 接続ベースに接続）
 - 回転、傾斜、および交換が可能でさまざまな高さに対応した支柱（プリンター搭載の支柱を含む）

モバイルシステム本体の機能



機能

(1) 電源ボタン	(10) NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) (オプション)
(2) バーコードスキャナー ボタン	(11) ハンドストラップ
(3) バーコードスキャナー (オプション) 用コネクタ	(12) 背面 Web カメラ
(4) Web カメラランプ	(13) バーコードスキャナー ボタン
(5) Web カメラ	(14) SIM カードカバー
(6) 充電ランプ	(15) 音量下げボタン
(7) 電源オフ時電源供給機能付き USB SuperSpeed ポート (×2)	(16) 音量上げボタン
(8) バーコードスキャナー ボタン	(17) オーディオコネクタ
(9) 指紋リーダー (オプション)	

注記：無線 WAN (LTE) モジュールとバーコードスキャナーを同一のユニットで使用することはできません。どちらか一方を使用することはできますが、両方は使用できません。

本体に搭載された機能

以下に示す本体に搭載された機能は、ディスプレイを除いて選択可能です。



機能

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| (1) 12.3 インチ 1920×1280 WUXGA ディスプレイ | (5) HP ElitePOS モバイル リテール ケース |
| (2) HP ElitePOS カラム プリンター | (6) 磁気ストライプリーダ (MSR) |
| (3) ドッキングロック リリース ボタン | (7) HP ElitePOS 指紋リーダ |
| (4) ElitePOS I/O 接続ベース (2 種類から選択) | |

ディスプレイ パネルは白色 LED SVA 400 nit のアンチグレア (非光沢) パネルです。

注記: 上記の輝度に関する値は、ディスプレイに対してアンチグレア加工を施す前のものです。

ドックのオプション

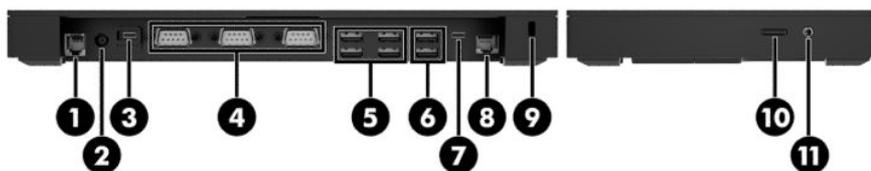


オプション

- (1) 回転ドック (カラム プリンター付き)
- (2) 回転ドック

注記: 図では、ドックの下にスタビリティベースが取り付けられています。

HP ElitePOS ベーシック I/O 接続ベースの各部

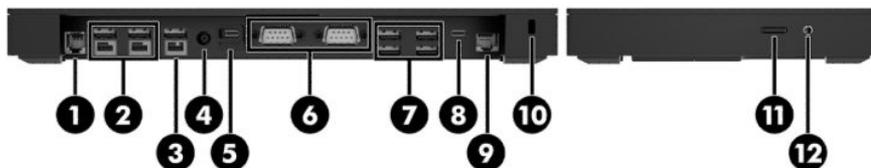


名称

(1)	キャッシュ ドロアー ポート	(7)	USB Type-C ポート
(2)	電源コネクタ	(8)	RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
(3)	USB Type-C 電源ポート	(9)	セキュリティ ロック ケーブル用スロット
(4)	電源供給機能付きシリアル ポート (x3)	(10)	microSD カードスロット
(5)	USB 2.0 ポート (x4)	(11)	オーディオ出力 (ヘッドフォン) /オーディオ入力 (マイク) コネクタ
(6)	USB 3.0 ポート (x2)		

重要：システムの損傷を防ぐため、絶対にネットワーク ケーブルをキャッシュ ドロアー ポートに接続しないでください。

HP ElitePOS アドバンス I/O 接続ベースの各部



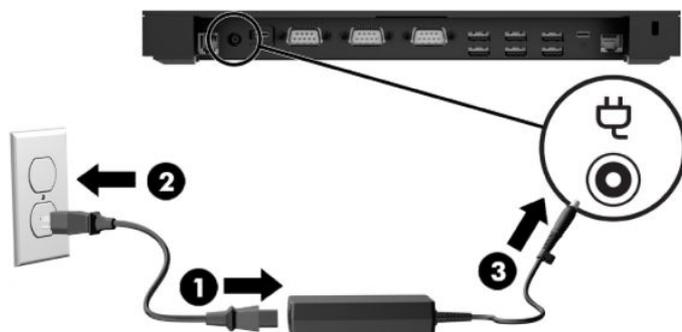
名称

(1)	キャッシュ ドロアー ポート	(7)	USB 3.0 ポート (x4)
(2)	12 V 電源供給機能付き USB ポート (x2)	(8)	USB Type-C ポート
(3)	24 V 電源供給機能付き USB ポート	(9)	RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
(4)	電源コネクタ	(10)	セキュリティ ロック ケーブル用スロット
(5)	USB Type-C 電源ポート	(11)	microSD カードスロット
(6)	電源供給機能付きシリアル ポート (x2)	(12)	オーディオ出力 (ヘッドフォン) /オーディオ入力 (マイク) コネクタ

重要：システムの損傷を防ぐため、絶対にネットワーク ケーブルをキャッシュ ドロアー ポートに接続しないでください。

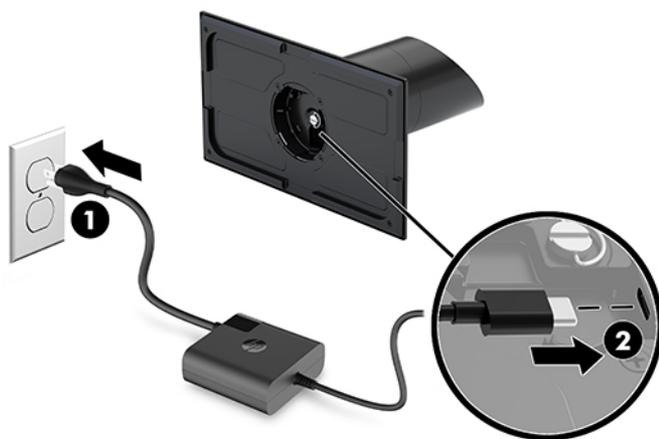
外部電源アダプターの電源への接続

外部電源アダプターを I/O 接続ベースに接続するには、電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、外部電源アダプターを I/O 接続ベースの電源コネクタに接続します (3)。



外部電源アダプターが I/O 接続ベースに接続されていないときに、外部電源アダプターをモバイルシステムに接続するには、外部電源アダプターをアースされた電源コンセントに接続して (1)、外部電源アダプターの USB Type-C コネクタをドックの支柱の底面にある USB Type-C 電源ポートに接続します (2)。

 **注記：** 以下の図では、スタビリティベースが取り付けられています。



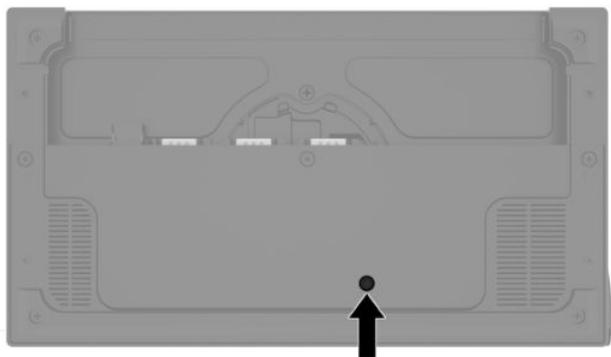
モバイルシステム本体の電源ボタンの位置

電源ボタンは、モバイルシステム本体の上面の左端にあります。



I/O 接続ベースの電源ボタンの位置

I/O 接続ベースの電源ボタンは、I/O 接続ベースの底面にあります。



I/O 接続ベースはモバイルシステム本体によって制御されます。モバイルシステム本体の電源がオフのときは、I/O 接続ベースもオフになり、電源はモバイルシステム本体に接続されている I/O 接続ベースの USB Type-C ポートからのみ供給できます。このポートには、モバイルシステム本体との通信を継続できるように電源が供給され続けます。これにより、モバイルシステム本体の電源がオンになったときに、I/O 接続ベースの電源がオンに戻ります。

システムがオフになった後、I/O 接続ベースの底面にある電源ボタンを押すことで、モバイルシステム本体がオフのままであっても I/O 接続ベースのポートから電力を供給できます。

モバイルシステム本体の調整

モバイルシステム本体の傾斜角度や左右の向きを調整することで、見やすい表示角度に設定できます。角度は、50°～60°の間で設定できます。

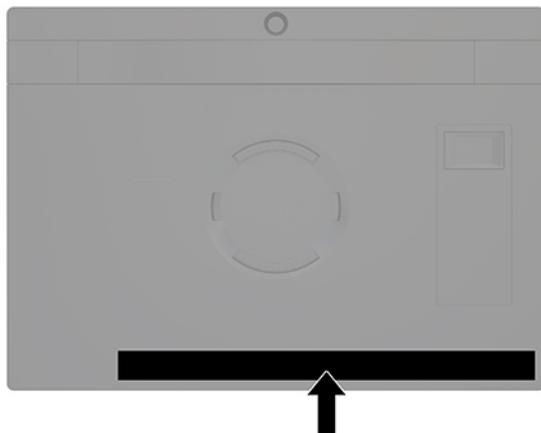


モバイルシステム本体は、どちらの方向にも180°回転できます。



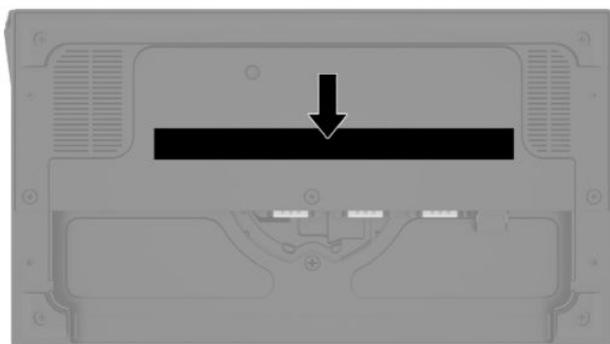
モバイルシステム本体のシリアル番号の記載位置

各モバイルシステム本体の外側には、固有のシリアル番号および製品識別番号のラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



I/O 接続ベースのシリアル番号の記載位置

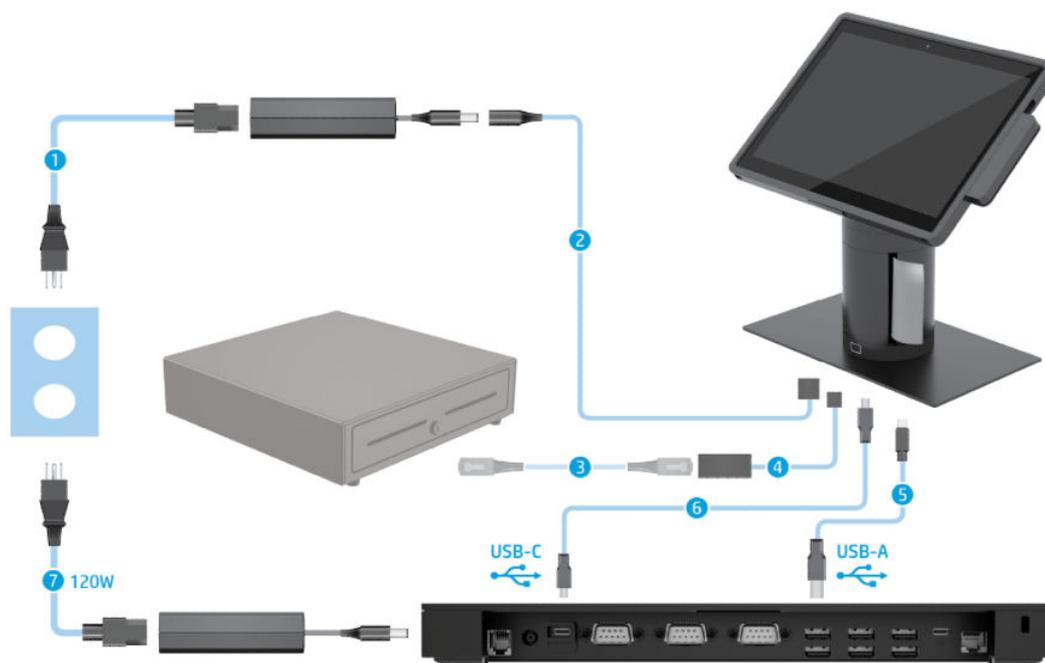
各 I/O 接続ベースの外側には、固有のシリアル番号および製品識別番号のラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



規制に関する情報は、ベースプレートに記載されています。ベースプレートが取り外されている場合は、取り付けなおします。

2 ケーブル配線の構成

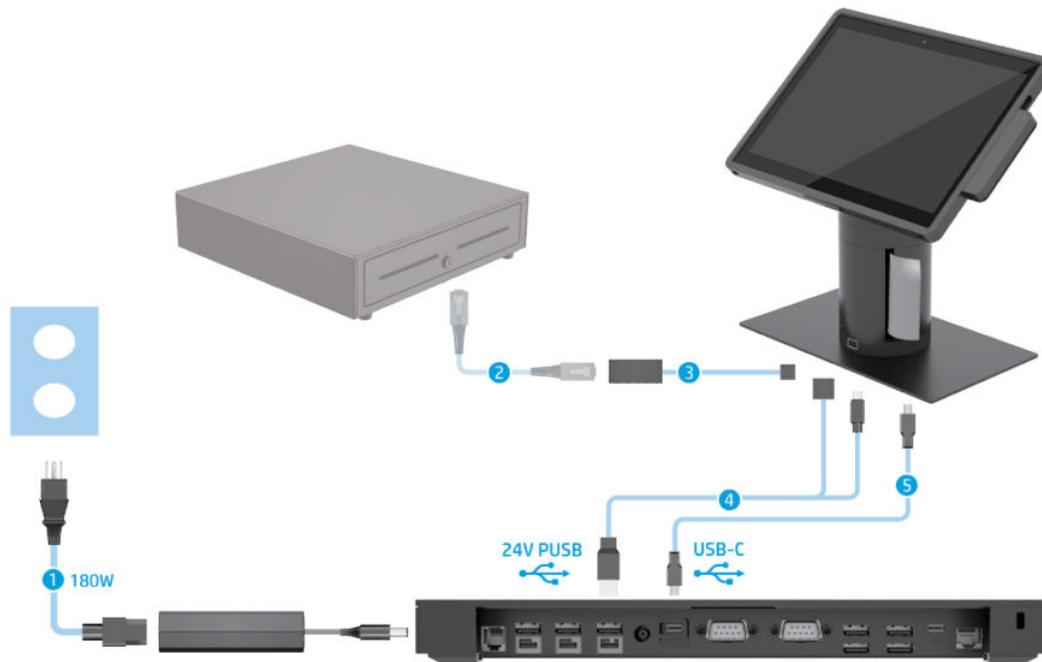
カラムプリンターおよびベーシック I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図



ケーブル

- | | |
|---------------------------------------|---|
| (1) カラムプリンターの外部電源コード | (5) I/O 接続ベースの mini USB Type-B-USB Type-A データケーブル |
| (2) カラムプリンターの外部電源アダプターケーブル | (6) I/O 接続ベースの USB Type-C ケーブル |
| (3) キャッシュドロアーケーブル (キャッシュドロアーとともに別途購入) | (7) I/O 接続ベースの 120 W 外部電源コード |
| (4) カラムプリンターのキャッシュドロアーケーブル | |

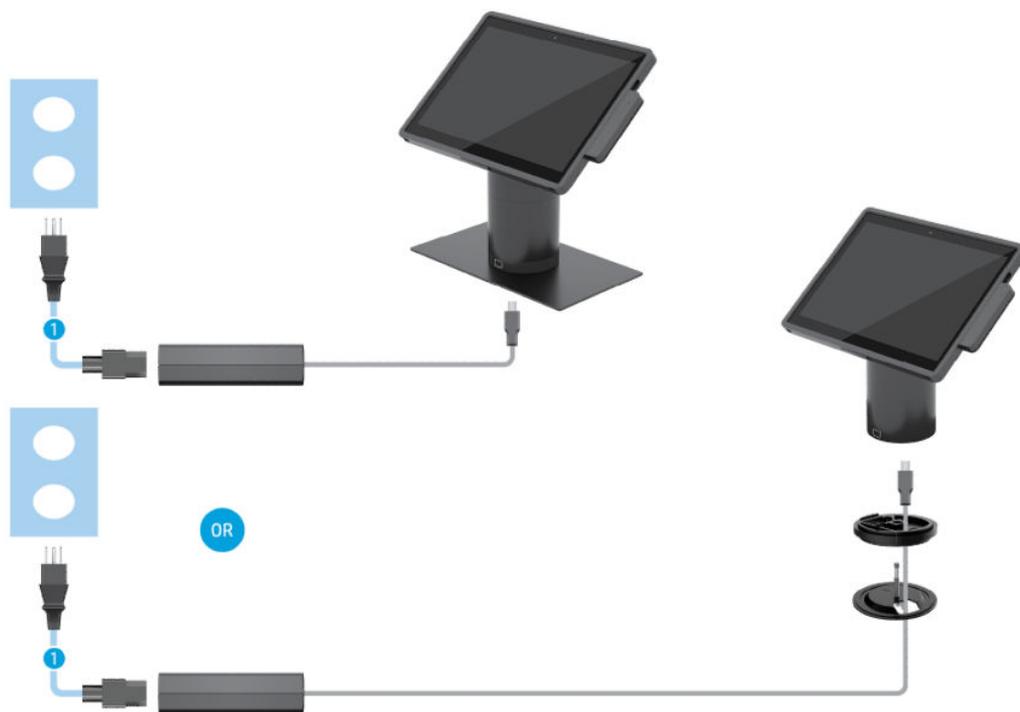
カラムプリンターおよびアドバンス I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図



ケーブル

- | | |
|---------------------------------------|---|
| (1) I/O 接続ベースの 180 W 外部電源コード | (4) カラムプリンターの 24 V PUSB 電源およびデータ Y ケーブル |
| (2) キャッシュドロアーケーブル (キャッシュドロアーとともに別途購入) | (5) I/O 接続ベースの USB Type-C ケーブル |
| (3) カラムプリンターのキャッシュドロアーケーブル | |

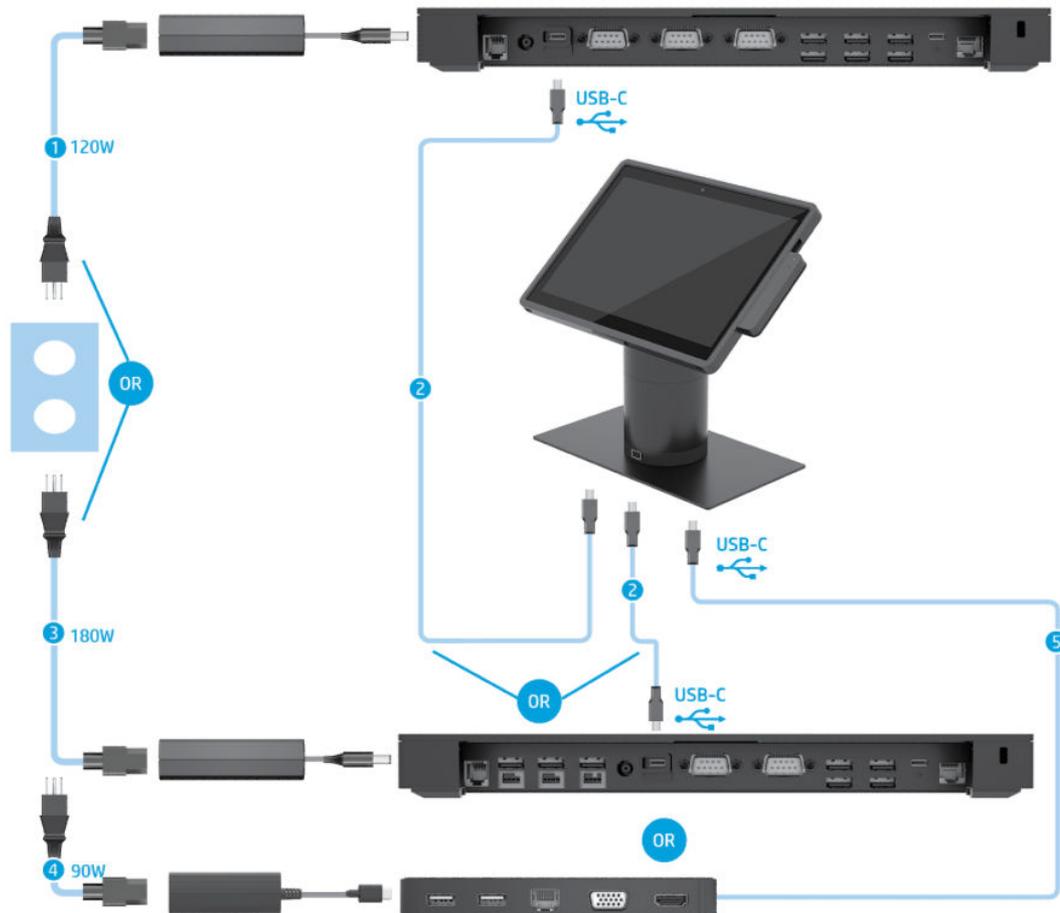
I/O 接続ベースのない HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図



ケーブル

-
- (1) 外部電源コード
-

I/O 接続ベースを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図

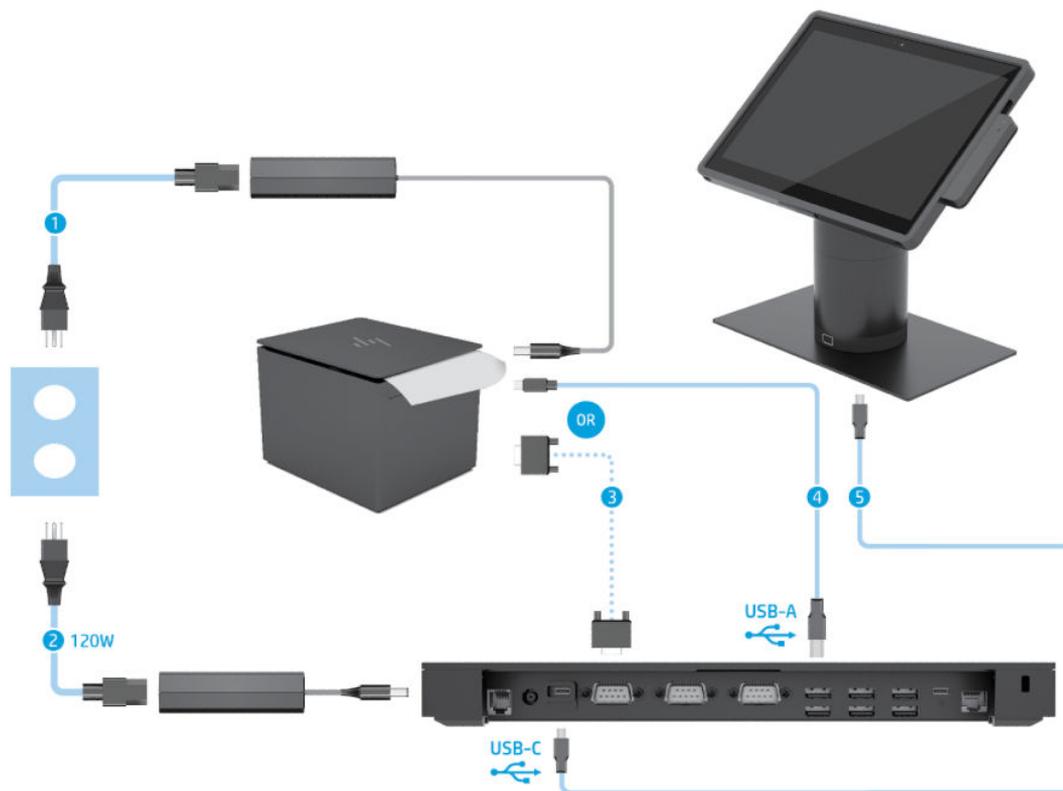


ケーブル

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| (1) ベーシック I/O 接続ベースの 120 W 外部電源コード | (4) USB-C ミニ ドックの 90 W 外部電源コード |
| (2) I/O 接続ベースの USB Type-C ケーブル | (5) USB-C ミニ ドックの専用 USB Type-C ケーブル |
| (3) アドバンス I/O 接続ベースの 180 W 外部電源コード | |

 **注記:** ヨーロッパ地域では、USB-C ミニ ドックは、製品購入後のオプションキットとしてのみ販売されています。その他の地域では、USB-C ミニ ドックは、本体に同梱されるオプションとして販売されています。

ベーシック I/O 接続ベースおよびスタンドアロンプリンターを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図

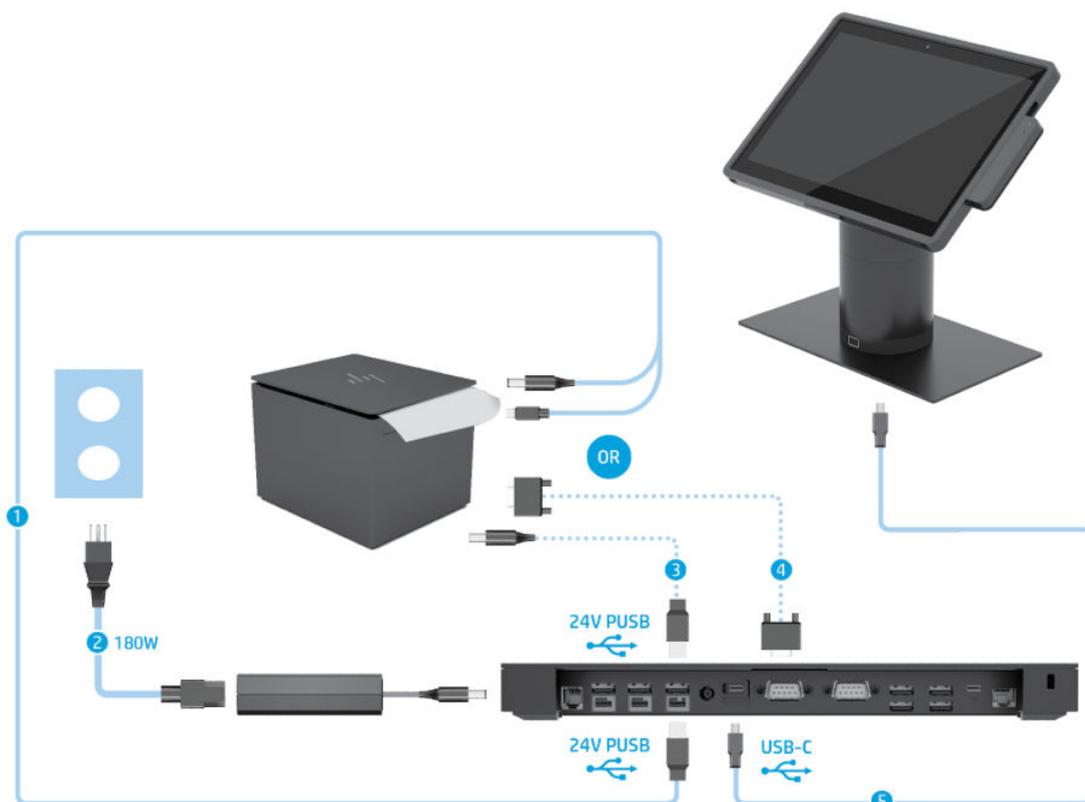


ケーブル

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| (1) プリンターの外部電源コード | (4) プリンターの USB Type-A-Type-B データケーブル |
| (2) ベーシック I/O 接続ベースの 120 W 外部電源コード | (5) ベーシック I/O 接続ベースの USB Type-C ケーブル |
| (3) プリンターのシリアルデータケーブル | |

重要： I/O 接続ベースとプリンターの間を、シリアルデータケーブル (3) または USB Type-A データケーブル (4) のどちらかで接続します。両方を同時に接続しないでください。

アドバンス I/O 接続ベースおよびスタンドアロンプリンターを備えた HP Engage Go Convertible System のケーブル配線図



ケーブル

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| (1) プリンターの 24 V PUSB 電源およびデータ Y ケーブル | (4) プリンターのシリアルデータケーブル |
| (2) アドバンス I/O 接続ベースの 180 W 外部電源コード | (5) アドバンス I/O 接続ベースの USB Type-C ケーブル |
| (3) プリンターの 24 V PUSB 電源ケーブル | |

重要：I/O 接続ベースとプリンターの間を、24 V PUSB 電源およびデータ Y ケーブル (1) または 24 V PUSB 電源ケーブル (3) およびシリアルデータケーブル (4) のどちらかで接続します。3 本すべてを同時に接続しないでください。

3 ハードウェアの構成およびアップグレード

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- カバーやパネル等を取り外す前に、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。内部には通電する部品が含まれています。
- 作業を行う前に、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 装置の電源を入れなおす前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドでは、正しい作業環境の整え方について説明し、快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドラインを提供しています。また、電気的および物理的安全基準に関する情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。

📌 重要： 静電気の放電によって、システムや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[40 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

システムが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、システムのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

モバイルシステム本体のロックおよびロック解除

モバイルシステム本体は、ドックに取り付けられたときに自動的にロックされます。モバイルシステム本体のロックを解除するには、ドックの支柱の前面にあるロックリリースボタンを押します。

モバイルシステム本体のロックを解除するために使用できる認証方法は2つあります。認証方法は[HP SureLock]ウィザードを使用して設定できます。

- **Windows®ユーザー認証**：グループを定義して、そのグループに属するユーザーが、Windows ログインパスワードでモバイルシステム本体のロックを解除できるようにします。
- **PIN 認証**：モバイルシステム本体のロックを解除するにはPIN が必要です。

 **注記**：両方の認証方法を使用できますが、モバイルシステム本体のロックを解除するための認証を不要にすることもできます。初期設定では、認証不要になっています。

ドックのロックリリースボタンのランプは、ロックの状態を示します。

- **オレンジ色**：モバイルシステム本体がロックされていて、Windows の適切なログイン権限がなければロックを解除できません。
- **白色**：モバイルシステム本体がロックされています。ロックを解除できますが、PIN が必要になる場合があります。
- **緑色**：モバイルシステム本体のロックが解除されていて、取り外すことができます。

ドックへのモバイルシステム本体の取り付け

ドックの支柱の上面にモバイルシステム本体の背面を合わせ、ドックの上にモバイルシステム本体を置きます。モバイルシステム本体は、ドックに取り付けられたときに自動的にロックされます。



ドックからのモバイルシステム本体の取り外し

ドックの支柱の前面にあるロック リリース ボタンを押す (1)、モバイルシステム本体を持ち上げてドックから外します (2)。

 **注記** : モバイルシステム本体のドックへのロックを解除するには PIN が必要な場合があります。
[16 ページのモバイルシステム本体のロックおよびロック解除](#)を参照してください。



モバイルシステム本体への磁気ストライプリーダー (MSR) の取り付け

磁気ストライプリーダー (MSR) を取り付けするには、モバイルシステム本体に携帯用ケースを取り付ける必要があります。

1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. モバイルシステムから電源コードを抜きます。

 **重要** : システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

3. モバイルシステム本体の右側にある底面の USB Type-C ポートに MSR を接続します。カチッと音がして MSR の側面にある留め具が所定の位置に収まるまで MSR をしっかりと押し込みます。

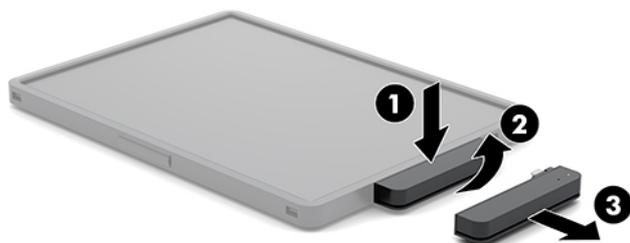


モバイルシステム本体からの磁気ストライプリーダー（MSR）の取り外し

1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切った後、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. モバイルシステムから電源コードを抜きます。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やシステムの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

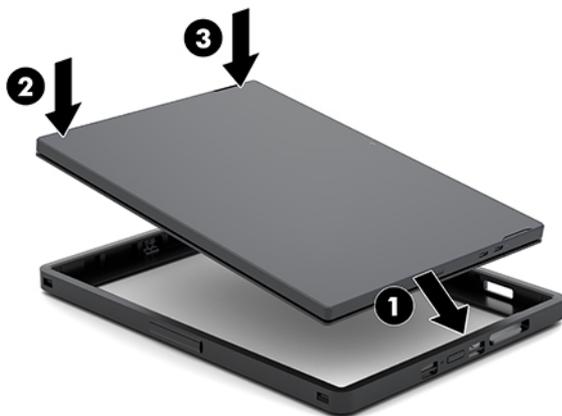
3. MSR の上部を親指で押し下げ (1)、MSR を上に少し傾けて (2)、MSR を USB Type-C ポートおよび留め具から引き抜きます (3)。



モバイルシステム本体への携帯用ケースの取り付け

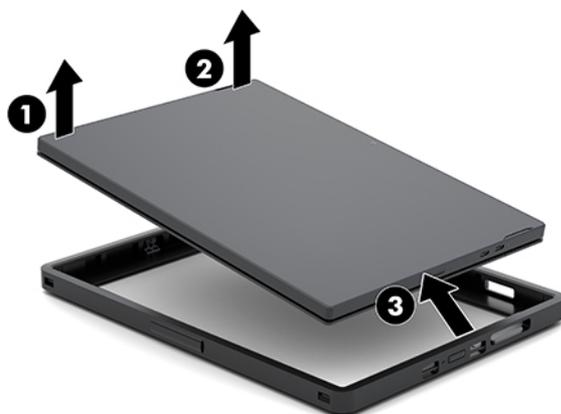
別売の携帯用ケースで、モバイルシステム本体を不慮の落下や衝突から保護することができます。さらに、携帯用ケースを使用することで、ハンズフリーでの小売業務が可能になるショルダーストラップを取り付けたり、磁気ストライプリーダー（MSR）を追加したりすることもできます。

1. モバイルシステム本体がドックに取り付けられている場合は、ドックから取り外します。
2. モバイルシステム本体の右側を携帯用ケースの右側の溝にスライドさせて (1)、モバイルシステム本体の左側の一方の隅を携帯用ケースに押し込んでから (2)、もう一方の隅もケースに押し込みます (3)。



モバイルシステム本体からの携帯用ケースの取り外し

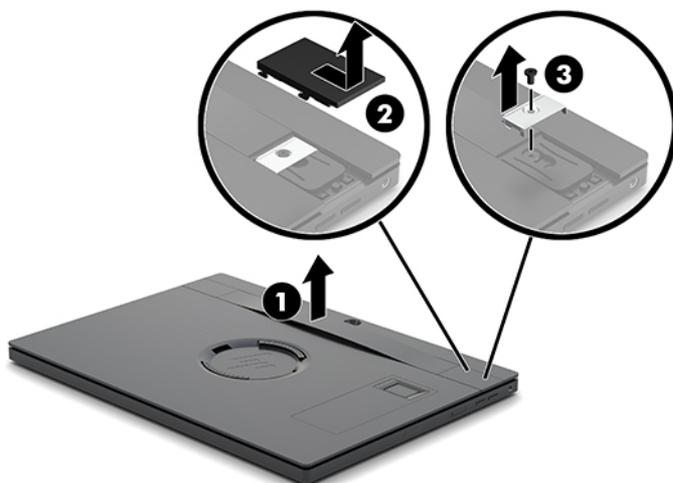
1. モバイルシステム本体がドックに取り付けられている場合は、ドックから取り外します。
2. 磁気ストライプリーダー（MSR）がモバイルシステム本体に取り付けられている場合は、モバイルシステム本体から取り外します。
3. モバイルシステム本体の左側の一方の隅を携帯用ケースから引き出してから（1）、左側のもう一方の隅も携帯用ケースから引き出します（2）。次に、モバイルシステム本体の右側をスライドさせて携帯用ケースから取り出します（3）。



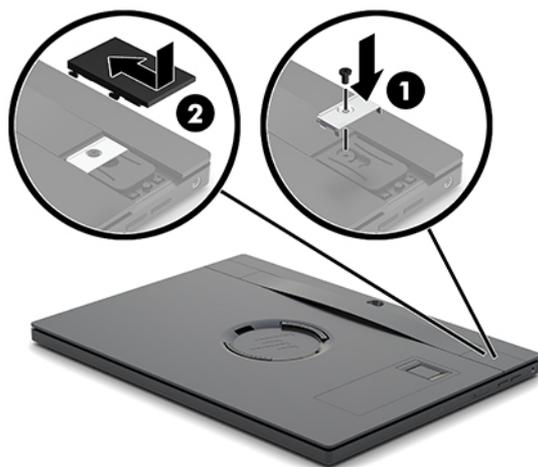
モバイルシステム本体のハンドストラップの交換

モバイルシステム本体の背面にあるハンドストラップを交換する必要がある場合は、以下の操作を行います。

1. モバイルシステム本体がドックに取り付けられている場合は、ドックから取り外します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンして、モビリティ本体の電源を正しく切ります。
3. ハンドストラップを持ち上げます (1)。
4. ハンドストラップを取り外すには、ハンドストラップの両側にあるネジカバーを、外側にスライドさせてから持ち上げます (2)。次に、ストラップをモバイルシステム本体に固定しているネジを取り外します (3)。



5. 新しいハンドストラップを取り付けるには、モバイルシステム本体の両側にハンドストラップをネジで固定します (1)。次に、モバイルシステム本体にネジカバーを押し込み、カバーを内側にスライドさせて、ネジカバーを取り付けなおします (2)。



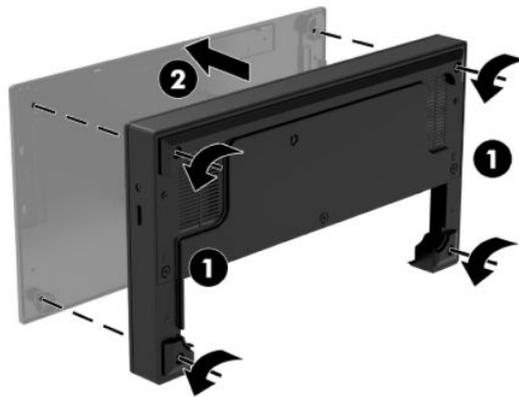
HP Engage Go Convertible System への I/O 接続ベースの取り付け

I/O 接続ベースは、モバイルシステム ドックのスタビリティ ベースの底面に取り付けることができます。

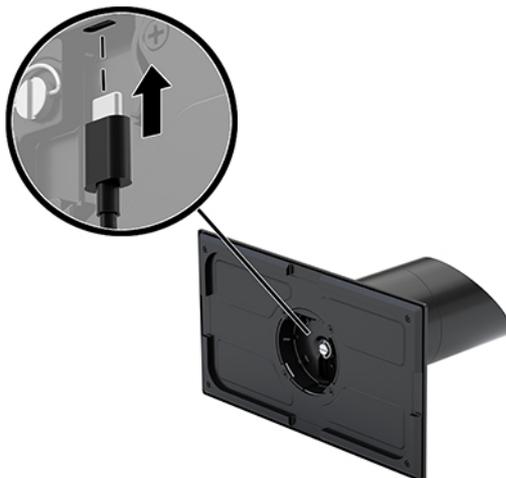
1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切った後、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. モバイルシステムおよび I/O 接続ベースから電源コードを抜きます。

 **重要：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

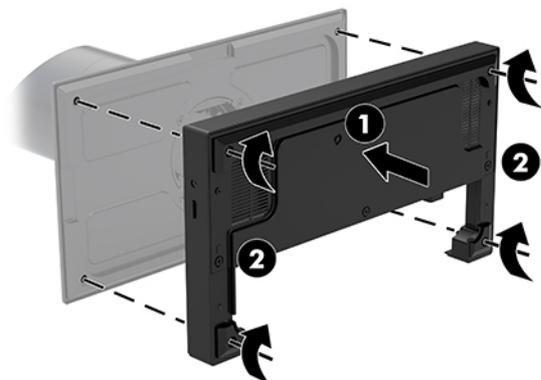
3. I/O 接続ベースの底面にある 4 本のネジを取り外し (1)、I/O 接続ベースのカバーを持ち上げて (2)、I/O 接続ベースからカバーを取り外します。



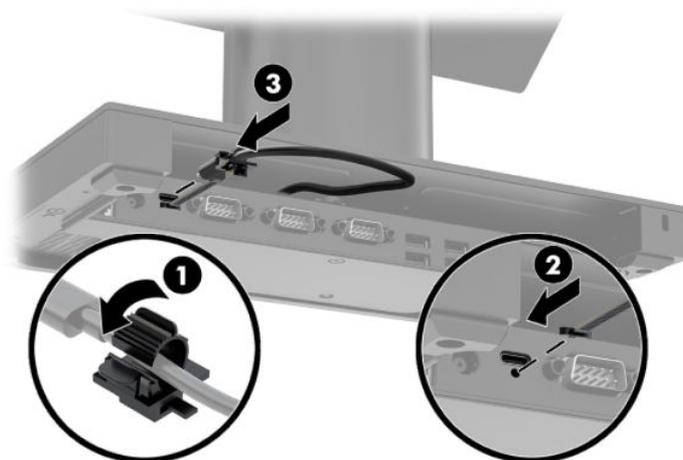
4. USB Type-C 電源ケーブルをドックの支柱の底面にある USB Type-C ポートに接続します。



5. I/O 接続ベースをドックのスタビリティベースの底面に合わせて置き (1)、I/O 接続ベースの底面にある 4 本のネジを締めて (2)、I/O 接続ベースをドックに固定します。USB Type-C 電源ケーブルを、I/O 接続ベースの上面とドックの支柱の間の隙間に通してください。



6. USB Type-C 電源ケーブルを接続して固定するには、ケーブルクリップをケーブルに取り付け (1)、ケーブルタイを I/O 接続ベースの USB Type-C ポートの下にある穴に差し込み (2)、ケーブルクリップにケーブルタイを通して、ケーブルをポートに接続します (3)。



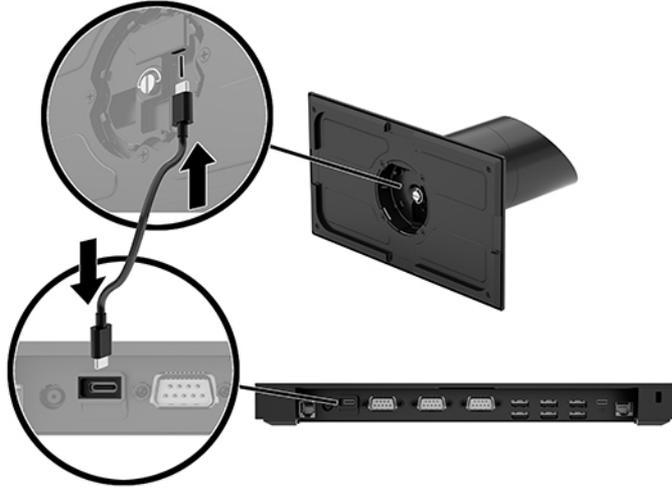
7. I/O 接続ベースの電源を I/O 接続ベースおよびアース (接地) された電源コンセントに接続します。5 ページの[外部電源アダプターの電源への接続](#)を参照してください。

HP Engage Go Convertible System への単体の I/O 接続ベースの接続

1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切ったから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. モバイルシステムおよび I/O 接続ベースから電源コードを抜きます。

 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

3. USB Type-C 電源ケーブルで、ドックの支柱の底面にある USB Type-C ポートと、I/O 接続ベース上の USB Type-C 電源ポートを接続します。



4. I/O 接続ベースの外部電源アダプターを I/O 接続ベースおよびアース（接地）された電源コンセントに接続します。5 ページの外部電源アダプターの電源への接続を参照してください。

I/O 接続ベースの電源供給機能付きシリアルポートの設定

シリアルポートは、標準（電源供給機能なし）のシリアルポートまたは電源供給機能付きシリアルポートのどちらにも設定できます。一部のデバイスでは電源供給機能付きシリアルポートを使用します。コンピューターのシリアルポートを電源供給機能付きポートとして設定しておく、電源供給機能付きシリアルインターフェイスをサポートするデバイスを接続した場合、デバイス用の外部電源を別途接続する必要はありません。

重要：シリアルポート デバイスを取り付けたり取り外したりする前に、システムの電源を切る必要があります。

注記：I/O 接続ベースの初期設定では、すべてのシリアルポートが電源供給機能のない標準シリアルモード（0V）に設定されています。

シリアルポートごとに3つの電圧設定があります。

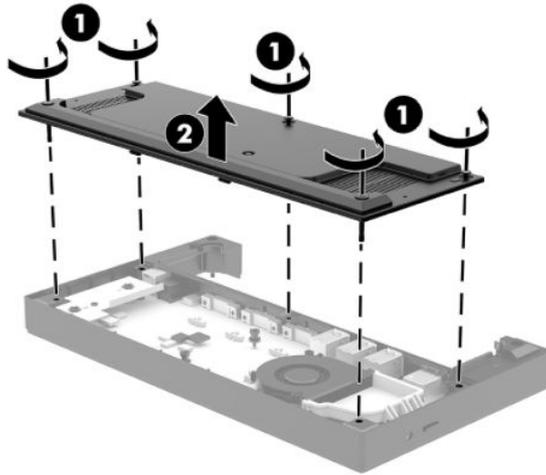
- 0V
- 5V
- 12V

電源供給機能付きシリアルポートの電圧設定を変更するには、以下の操作を行います。

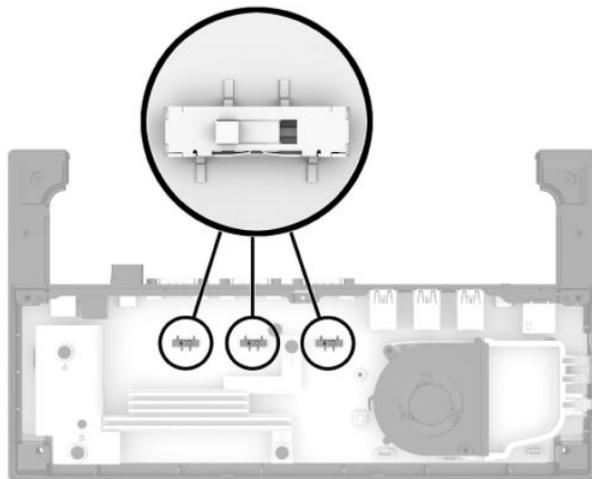
1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切った後、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. I/O 接続ベースから電源コードおよびすべての周辺機器を取り外します。

重要：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や I/O 接続ベースの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

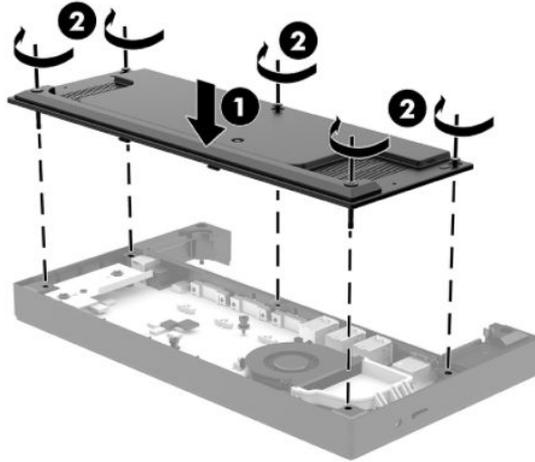
3. I/O 接続ベースの底面にある、底面プレートを I/O 接続ベースに固定している 5 本のネジを取り外して (1)、底面プレートを I/O 接続ベースから取り外します (2)。



4. 各シリアルポートの後ろにある電圧選択スイッチを適切な設定に調整します。



5. 底面プレートを I/O 接続ベースの上に置き (1)、5 本のネジで底面プレートを I/O 接続ベースに固定します (2)。



6. I/O 接続ベースの電源コードおよび周辺機器を接続しなおします。

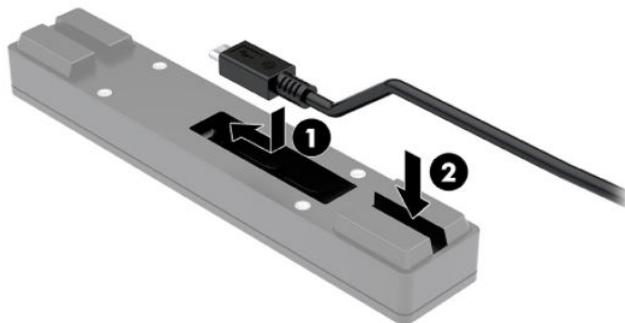
I/O 接続ベースへの別売の指紋リーダーの単体としての接続

別売の指紋リーダーは、単体のデバイスとして使用することも、I/O 接続ベースに取り付けることもできます。指紋リーダーを I/O 接続ベースに単体として接続するには、以下の操作を行います。

1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切ったから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
2. モバイルシステムおよび I/O 接続ベースから電源コードを抜きます。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

3. USB ケーブルを指紋リーダーに接続し (1)、指紋リーダーの配線用スペースにケーブルを通します (2)。



- 指紋リーダーの USB ケーブルを I/O 接続ベースの USB Type-A ポートに接続します。



- I/O 接続ベースおよび電源コードを接続しなおします。

I/O 接続ベースへの別売の指紋リーダーの取り付け

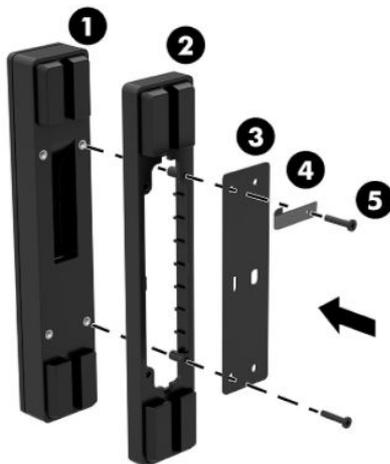
別売の指紋リーダーは、単体のデバイスとして使用することも、I/O 接続ベースに取り付けることもできます。指紋リーダーを I/O 接続ベースに取り付けるには、以下の操作を行います。

 **注記：**指紋リーダーは I/O 接続ベースのどちらの側面にも取り付けることができますが、I/O 接続ベースの左側面に取り付けた場合、指紋リーダーが I/O 接続ベースの microSD カードスロットおよびオーディオ出力コネクタを覆います。

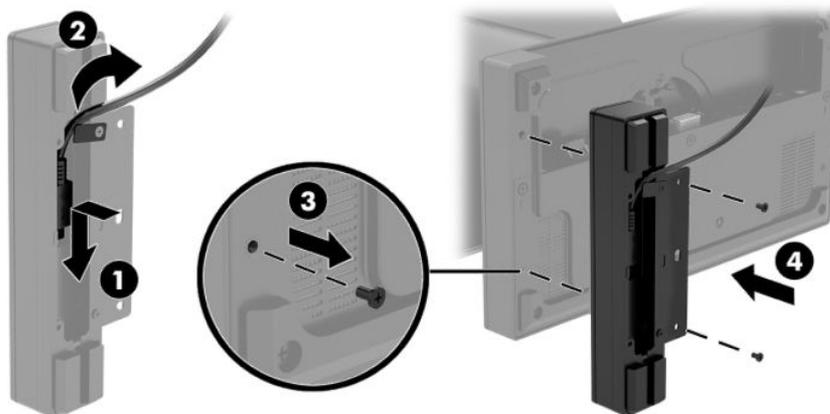
- オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてモバイルシステムの電源を切ったから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
- モバイルシステムおよび I/O 接続ベースから電源コードを抜きます。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

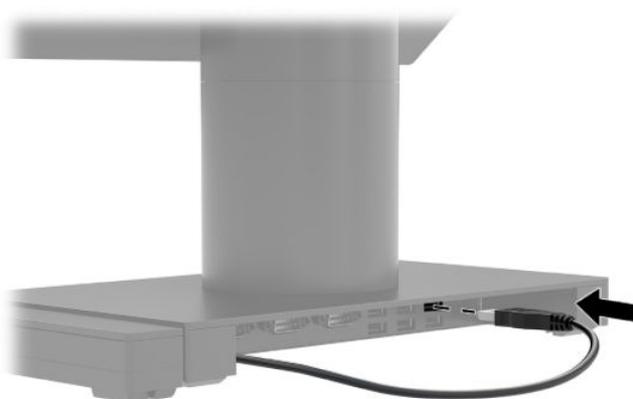
- 指紋リーダー (1) にライザー (2) を取り付け、マウント用ブラケット (3) およびケーブル配線用クリップ (4) を、指紋リーダーに付属の 2 本の長いネジ (5) で指紋リーダーおよびライザーに取り付けます。



4. USB ケーブルを指紋リーダーに接続し (1)、ケーブルを指紋リーダーの配線用クリップの下に通します (2)。I/O 接続ベースの底面の取り付けネジを取り外し (3)、ベースから取り外したネジおよびキットに付属の短いネジを使用して、I/O 接続ベースの底面に、指紋リーダーアセンブリのマウント用ブラケットを固定します (4)。



5. 指紋リーダーのケーブルを I/O 接続ベースの USB Type-A ポートに接続します。



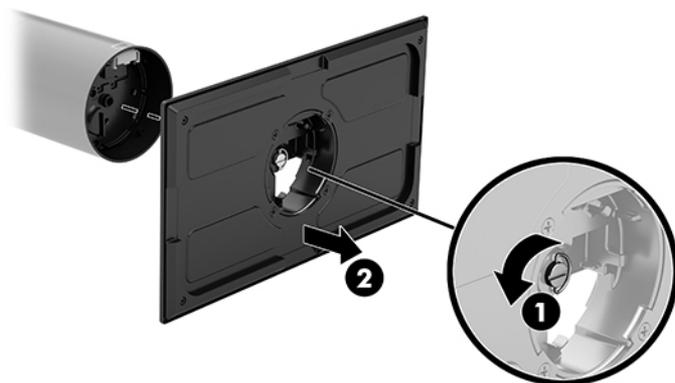
6. I/O 接続ベースおよび電源コードを接続しなおします。

カウンターへの HP Engage Go Convertible System の取り付け

別売のカウンターマウントキットを使用すると、モバイルシステムの支柱をカウンターに取り付けることができます。

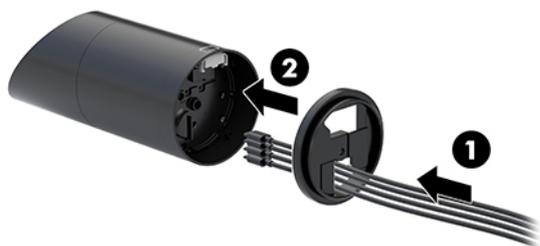
 **注記:** このマウントキットを使用するには、カウンターに 80 mm の穴が開いている必要があります。カウンターの厚さは、10 ~ 50 mm である必要があります。

1. ドックのスタビリティベースが支柱に取り付けられている場合は、支柱の底面にあるネジを取り外して (1)、支柱からベースを取り外します (2)。

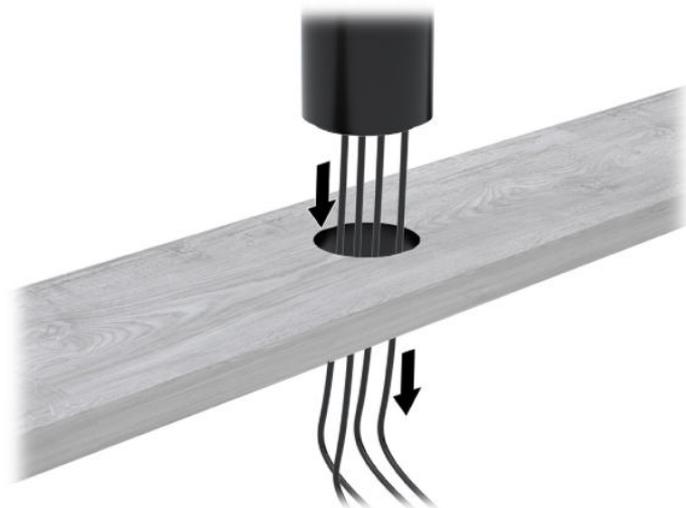


2. マウントキットの上側ブラケットにある配線穴にケーブルを通し (1)、ケーブルを支柱の底面に接続します (2)。

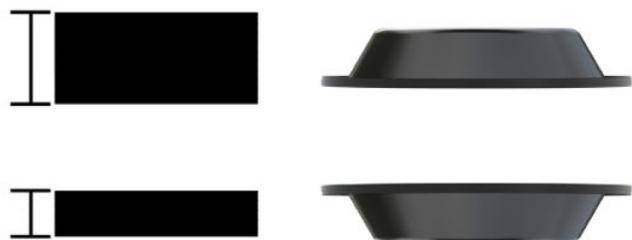
注記：支柱にプリンターが内蔵されている場合、接続するケーブルは4本あります。プリンターが内蔵されていない場合、接続するケーブルは1本です。



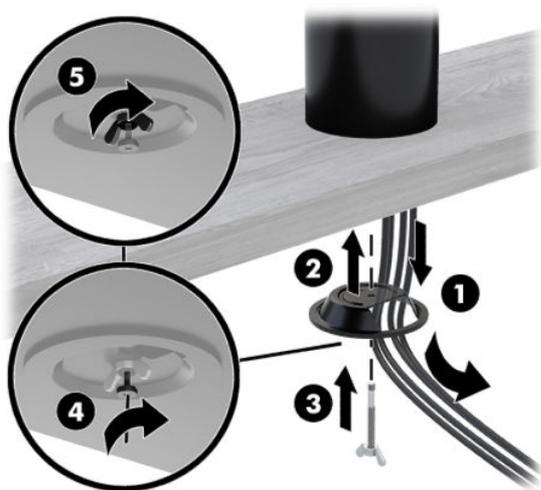
3. マウントキットの上側ブラケットを支柱の底面に押し当て、取り付け面の穴にケーブルを通して、穴の上に支柱を置きます。



4. マウントキットの下側ブラケットは、取り付け面の厚さに応じて、2通りの向きで使用できます。取り付けの前に、ブラケットを用途に適した正しい向きに合わせます。



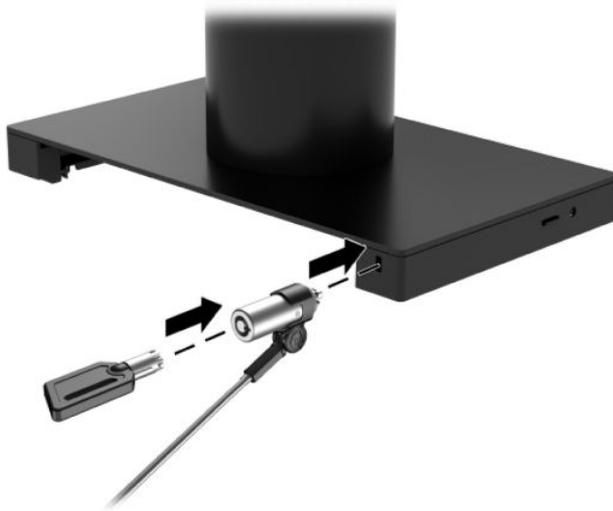
5. マウントキットの下側ブラケットの穴にケーブルを通します(1)。下側ブラケットを取り付け面の下側に押し付け(2)、マウントキットからネジを挿入します(3)。ネジが支柱に完全に挿入されるまでネジを締めてから(4)、ネジのウィングナットを締めて(5)マウントキットを取り付け面にしっかり固定します。



I/O 接続ベースへのセキュリティロックケーブルの取り付け

別売のセキュリティロックケーブルを使用して、I/O 接続ベースを固定物に固定できます。セキュリティロックケーブルをセキュリティロックケーブル用スロットに差し込みます。鍵をかけて、所定の位置に固定します。

 **注記:** セキュリティロックケーブルは、製品購入後のオプションキット（別売）としてのみ販売されています。

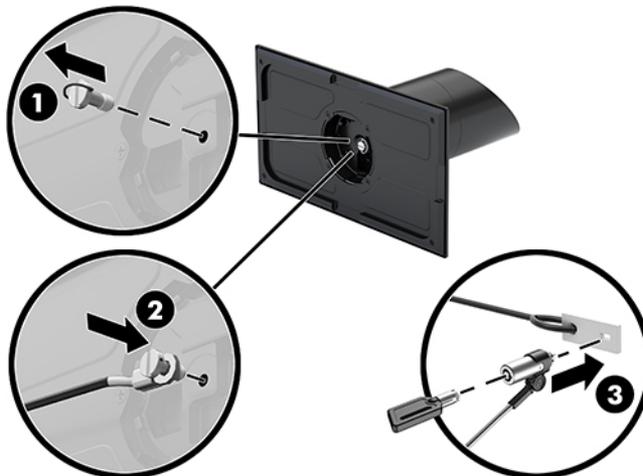


HP Engage Go Convertible System の支柱へのセキュリティロックケーブルの取り付け

別売のセキュリティロックケーブルおよび別売のセキュリティロック延長ケーブルを使用して、I/O 接続ベースを固定物に固定できます。

注記：セキュリティロックケーブルおよびセキュリティロック延長ケーブルは、製品購入後のオプションキット（別売）としてのみ販売されています。

1. 支柱の底面からネジを取り外します (1)。
2. セキュリティロック延長ケーブルに付属の不正開封防止ネジを使用して、支柱の底面にセキュリティロック延長ケーブルを取り付けます (2)。
3. セキュリティロック延長ケーブルのもう一方の端にセキュリティロックケーブルを差し込み、鍵をかけて固定します (3)。



4 カラムプリンターの使用

カラムプリンターとは、システムに搭載できる別売の製品です。

標準機能

標準機能	
インターフェイス	USB
メモリ/ファームウェア	8 MB のフラッシュメモリ、EEROM による履歴、4 KB のバッファ
省電力モード	ユーザーが指定した時間 (分) よりも長くデータを受信しない状態が続いた場合に、低電力 (1 ワット) のアイドル状態になるようにプリンターを設定するオプション
インストールされている文字セット	PC コードページ 437 (英語 (米国))、720 (アラビア語)、737 (ギリシャ語)、775 (バルト語)、850 (多言語)、852 (ラテン II)、857 (トルコ語)、858 (ユーロシンボル)、860 (ポルトガル語)、862 (ヘブライ語)、863 (フランス語 (カナダ))、864 (アラビア語)、865 (ノルディック語)、866 (キリル語)、874 (タイ語)、1250 (Windows 中央ヨーロッパ)、1251 (Windows キリル語)、1252 (Windows ラテン I)、1254 (Windows トルコ語)、1255 (Windows ヘブライ語)、1256 (Windows アラビア語)、1257 (Windows バルト語)、28591 (Windows ラテン 1)、28592 (Windows ラテン 2)、28594 (Windows バルト語)、28596 (Windows アラビア語)、28599 (Windows トルコ語)、28605 (Windows ラテン 9)、カタカナ、および KZ_1048 (カザフスタン語)
ダウンロード可能なフォント	コードページ 932 (日本語)、949 (韓国語)、936 (簡体字中国語)、および 950 (繁体字中国語)
内蔵バーコード	Code 39、Code 93、Code 128、UPC-A、UPC-E、JAN8 (EAN)、JAN13 (EAN)、Interleaved 2 of 5、Codabar、Code 128、PDF-417 (2 次元)、Code 128 (拡張)、GS1 Databar、QR コード、および Datamatrix
印刷	80 mm 幅の感熱紙で 44 列 ([Standard] (標準) モード) または 56 列 ([Compressed] (圧縮) モード) の単色印刷
用紙搬送路	80.0 mm
ロールの直径	最大 51 mm
印刷解像度	8 ドット/mm
速度	最大出力速度 114 mm/秒 (単色)
用紙検知	用紙切れになった場合
ヒューマンインターフェイス	スピーカーからのビープ音 (ソフトウェアによって生成)、給紙ボタンから簡単に操作できる設定メニュー、給紙ボタンの横にある緑色のステータスランプ
キャッシュドロアー ドライバー	1 つまたは 2 つのキャッシュドロアーに接続できるコネクタを装備 (2 つのドロアーを使用する場合は Y ケーブルが必要)
カッター	すべてのユニットにペーパーカッターを標準装備

印刷機能

このプリンターは、さまざまな印刷オプションを利用できる多用途プリンターです。テキスト、グラフィックス、およびバーコードをさまざまな形式やサイズで印刷できます。プログラミングで、テキスト、グラフィックス、またはその他の特性を変更する方法については、『Programming Guide』（プログラミングガイド）を参照してください。

レシート用紙を交換するタイミング

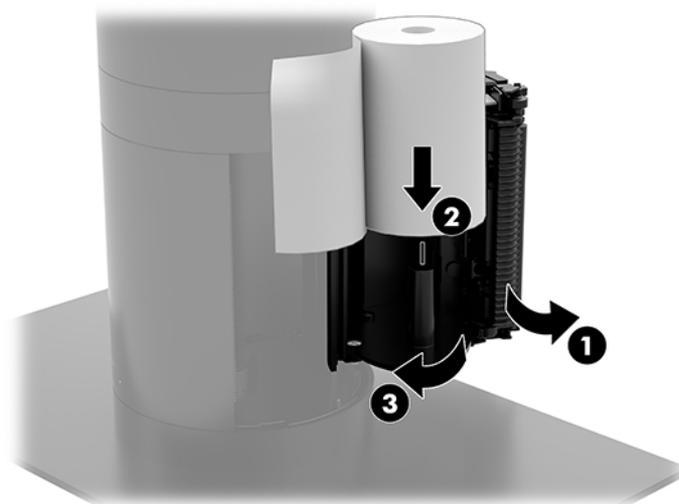
用紙の交換は、用紙がロールの終わりに近づいたとき、またはロールが空になったときに行います。用紙切れが近くなったら、使用状況を監視して、処理の途中で用紙切れにならないようにする必要があります。ロールが空になった場合は、すぐに新しいロールをセットしないと、データが失われる可能性があります。

- 用紙切れが近くなると、色付きの縞模様が印刷されたレシート用紙が出力され（購入した用紙に縞模様が付いている場合）、小さい処理を実行できるほどしか用紙が残っていないことが示されます。
- ロールが空になると、プリンターの緑色のランプがすばやく点滅して、用紙をセットする必要があります。

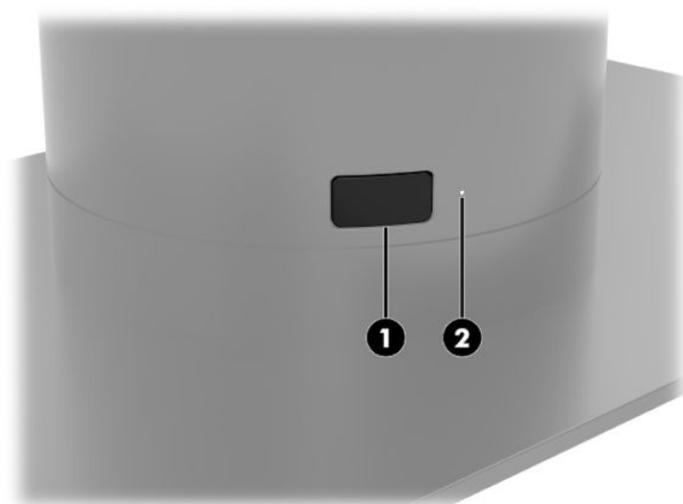
 **重要：**プリンターの用紙が切れた場合は、プリンターまたはホストシステムを操作しないでください。印刷ができない状態でも、プリンターがホストシステムからのデータを受け入れる場合があります。その結果、データが失われる可能性があります。

プリンターのレシート用紙のセット

1. レシートカバーの両端を均等に押し上げて固定を解除し、レシートカバーを開きます（1）。
2. 必要に応じて、テスト印字出力紙または使用中のロール紙を取り外します。
3. レシート用紙を用紙挿入部の回転軸にセットし（2）、レシート用紙を内側から引き出します。プリンターから用紙が5~7 cmほど出ている状態にします。紙詰まりを防ぐために、用紙がガイドラインの範囲内であることを確認します。
4. 用紙を所定の位置にセットして、レシートカバーを閉じます（3）。カバーがラッチでしっかりと固定されるように、初めにカチッという音がした後にカバーをもう少し強く押します。用紙がセットされた状態でカバーがしっかりと固定されると、ランプの点滅が止まります。



5. 用紙が正しくセットされているかどうかをテストするには、給紙ボタン（1）を使用して用紙を送り、カバーのカッターを使用して、用紙の余分な部分を切り取ります。緑色のランプ（2）が点灯している場合は、プリンターの電源が入っていて、正常に動作していることを意味します。このランプが点滅している場合は、カバーが完全に閉じていない可能性があります。



感熱紙の仕様

このプリンターでは、適合する以下のサイズの感熱紙を使用する必要があります。

- 幅：80+0/-0.6 mm（3.15+0/-0.03 インチ）
- 直径：最大 51 mm

ロールの芯を付けたままの状態 で用紙を使用しないでください。用紙切れが近いことがわかるようにするには、ロールの終わりに近い部分に色付きの縞模様が付いた用紙を使用します。

上記の数値は、芯外径 22±0.5 mm（0.87 インチ）、芯内径 11.5±0.5 mm（0.45 インチ）を基準としています。

適合する用紙のグレード

用紙を購入するには、適切な製造元に問い合わせてください。各製造元によって生産されている、以下のグレードの用紙をおすすめします。POS のロール紙が推奨されるグレードの単色（黒インク）用紙であれば、多くの場合は用紙の製造元で取り扱われています。

認定製造元	電話/FAX	用紙のグレード
Appvion, Inc.（米国）	電話：（800）922－1729	Alpha 400-2.3（以前の T1030）
825 E. Wisconsin Ave.	FAX：（800）922-1712	Alpha 800-2.4（以前の T1012A）
Appleton, WI 54912		POS-Plus 600-2.4
http://www.appvion.com/		Alpha 900-3.4（以前の Superior）
		Appvion 社製の最新の用紙には BPA が含まれていません

認定製造元	電話/FAX	用紙のグレード
Jujo Thermal Ltd. P.O. Box 92 FI – 27501 Kauttua, Finland http://www.jujothermal.com/	電話 : 358 (0) 10 303 200 FAX : 358 (0) 10 303 2419	AF50KS – E3 AP62KS – E3
Kanzaki Specialty Papers (米国) 20 Cummings St. Ware, MA 01082 – 2002 http://www.kanzakiusa.com/	電話 : (888) 526-9254 FAX : (413) 731-8864	P30023 (以前の P – 300)、P31023 (以前の P – 310)、 P35024 (以前の P – 350)、P35032 (以前の P – 354)、 P39023 (BPA を含みません、以前の P – 390)、P30521 (BPA を含みません)、 P30523 (BPA を含みません)、 P31523 (BPA を含みません)、 P35532 (BPA を含みません)
Koehler UK Ltd. (英国) 2 White Oak Square London Road Swanley, Kent BR8 7AG, U.K. http://www.koehlerpaper.com/en/	電話 : (44) 1322-661010 FAX : (44) 1322-614656	KT55-F20
Koehler AG Hauptstr. 2-4 D-77704 Oberkirch, Germany http://www.koehlerpaper.com/en/	電話 : (49) 7802 81-0 FAX : (49) 7802 81-4330	KT55-F20
Mitsubishi Int'l Corp. (米国) 655 Third Ave. New York, New York 10017 http://www.mitsubishicorp.com/us/en/	電話 : (212) 605-2000 FAX : (212) 605-2597	P – 5035 T – 8051 TP – 8065 PP-5051
王子製紙 〒104 東京都中央区 銀座 4-7-5 http://www.ojipaper.co.jp/	電話 : 03 – 3563-1111 FAX : 03 – 3563-1135	KF – 60 PD170R
Thermal Solutions Intl, Inc. 6740 Broadview Ave, Suite D Jacksonville, FL 32254 http://thermalsolutionsinternational.com/	電話 : (800) 479-6070、 (904) 860-1966 FAX : (904) 646-4530	19018RDT 特長 : 消費財廃棄物の含有率 30%、 再生紙/BPA を含まない

プリンターのトラブルシューティング

通常、このプリンターではトラブルは発生しません。ただし、予想外の状態が発生する場合があります。こうしたプリンターの状態を診断して解決するには、以下のセクションを参照してください。複雑な問題を解決するには、HP のサポート窓口にお問い合わせることが必要な場合もあります。

プリンターのビープ音および緑色のランプ

状態	考えられる原因	解決方法	詳細情報の参照先
緑色のランプがすばやく点滅し続ける	ロール紙が空になっている	新しいロール紙をセットします	32 ページのプリンターのレシート用紙のセット を参照してください
	レシート カバーが開いている	カバーを閉じます。問題が解決しない場合は、ランプの点滅が止まるまで、カバーの開閉を繰り返します	
	カッターを所定の位置に戻せない	プリンターの使用を停止します	HP のサポート窓口にお問い合わせください
緑色のランプがゆっくり点滅し続ける	この表で説明されていない問題が発生している可能性がある	プリンターの使用を停止します	HP のサポート窓口にお問い合わせください
プリンターのビープ音が鳴る (2 回、低い音の次に高い音)	プリンターの電源が入っていて、動作可能な状態にある	操作は必要ありません	
さまざまな組み合わせで、プリンターのビープ音が鳴ったり緑色のランプが点滅したりする	深刻な状態を示している	プリンターの使用を停止します	HP のサポート窓口にお問い合わせください

印刷に関する問題

状態	考えられる原因	解決方法	詳細情報の参照先
レシートに色付きの縞模様印刷される	用紙切れが近い	用紙を交換します	32 ページのプリンターのレシート用紙のセット を参照してください
レシートが最後まで出てこない	用紙が詰まっている	レシート カバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます	
プリンターは印刷を開始するが、レシートを印刷している途中で停止する	用紙が詰まっている	レシート カバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます	
レシートがカットされない	用紙が詰まっている	レシート カバーを開き、カッターを調べて、詰まっている用紙を取り除きます	

状態	考えられる原因	解決方法	詳細情報の参照先
印刷が薄い、または印刷ムラがある	ロール紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットします	32 ページのプリンターのレシート用紙のセット を参照してください
	サーマルプリントヘッドが汚れている	推奨されているサーマルレシート用紙を使用し、プリントヘッドを99%のイソプロピルアルコールで清掃します	
	用紙にばらつきがある	プリンター設定メニューの[Set Hardware Options] (ハードウェアオプションの設定) で、印刷濃度を必要に応じて110%または120%にします	
縦の罫線が印刷されない	プリンターの電子部品に深刻な問題が発生しているか、プリントヘッドで印刷されていないドットがあることが示されている	プリンターの使用を停止します	HP のサポート窓口にお問い合わせください
レシートの片側が印刷されない	プリンターの電子部品に深刻な問題が発生していることが示されている	プリンターの使用を停止します	HP のサポート窓口にお問い合わせください

 **注記：** 推奨されていない用紙を使用すると、プリントヘッドが損傷したり、保証が無効になったりする場合があります。

プリンターの動作不良

状態	考えられる原因	解決方法	詳細情報の参照先
電源がオンでランプがオフになっているときに、プリンターが動作しない	電源が接続されていない	ホストまたは電源装置に電源が供給されていることを確認します	
電源がオンでランプが点滅しているときに、プリンターが動作しない	レシートカバーが完全に閉じられていない	レシートカバーを閉じ、固定されるまで押し込みます	
プリンターが動作を停止した	プリントヘッドが過熱状態になった	プリントヘッドの温度を下げます	
	プリンターが省電力モードになっている	給紙ボタンを押してプリンターを復帰させます	
プリンターのカバーが開かない	レシートカバーが動かなくなっている	ラッチフェイルセーフを解放します	37 ページのラッチフェイルセーフ を参照してください

ラッチ フェイルセーフ

レシートカバーが動かなくなったときのために、カバーのラッチを解放するためのフェイルセーフがプリンターに備わっています。先のとがった物を使用して、プリントヘッドに隣接した長方形のボタンを押します。十分な力で押すと、ラッチが解放されてレシートカバーが開きます。



5 ソフトウェアの設定

Windows 10 Professional および Windows 10 IoT Enterprise for Retail でのタッチスクリーンの調整

 **注記** : Windows の調整ツールは、デジタイザー タッチ モードでのみ動作します。リテールタッチユーティリティをインストールした場合は、初期設定でタッチスクリーンが POS モード（マウスモード）に設定されるため、Windows の調整ツールを実行できません。

Windows 10 Professional および Windows 10 IoT Enterprise for Retail でタッチモジュールを調整するには、以下の操作を行います。

1. [コントロールパネル]を開きます。検索ボックスで「コントロール」と入力すると、[コントロールパネル]にアクセスできます。
2. [コントロールパネル]の検索ボックスで「調整」と入力します。[タブレット PC 設定]で[ペン入力またはタッチ入力に合わせた画面の調整]リンクをタップします。[タブレット PC 設定]ダイアログボックスで[調整]ボタンをタップし、手順 3 に進みます。
3. 画面の説明に沿って操作し、タッチスクリーンのターゲットマークを押します。調整処理が終了すると、タッチモジュールはビデオと対応し、タッチポイントの精度は高まっているはずで

HP 本体搭載型周辺機器モジュール（別売）の設定

本体搭載型 USB 周辺機器を設定するには、『HP Point of Sale (POS) 周辺機器設定ガイド』を参照してください。このガイドは、リテールシステムに付属のドキュメントに収録されています。また、HP の Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からアクセスできます。リテールシステムでこのガイドを表示するには、[スタート]→[HP Point of Sale Information]（HP Point of Sale 情報）の順に選択します。

 **注記** : お使いの製品が製造されてから納入されるまでの間に提供されていたソフトウェアや説明書の更新版については、<https://support.hp.com/jp-ja/> で確認してください。

A 磁気ストライプリーダー（MSR）での暗号化の有効化

磁気ストライプリーダー（MSR）にはオプションの暗号化機能があります。HP と ID TECH Products 社との提携により、キー インジェクション サービスをリモートで実行できるようになりました。ID TECH Products 社のサービスについて詳しくは、ID TECH Products 社の販売チーム (Sales@idtechproducts.com) に問い合わせください。

B 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

アース（接地）にはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

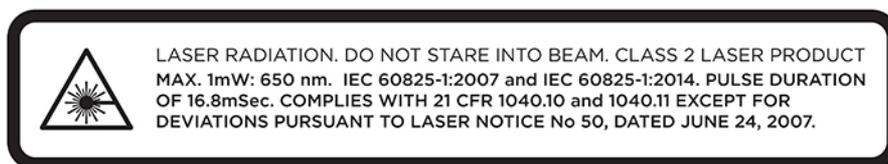
上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

C 操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

レーザー規定への適合

⚠ **警告!** レーザー製品の取り付け説明書に記載されていない方法で調整などの作業を行うと、レーザー光を浴びる危険性があります。危険なレーザー光線を浴びないように、以下の点に注意してください。



入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100 ~ 240 V (50/60 Hz) の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている外部 AC 電源アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作します。コンピューターの電圧および電流は、規定ラベルに記載されています。

入力電源	定格
動作電圧および電流	5 V DC (3 A, 65 W, USB-C の場合) / 9 V DC (3 A, 65 W, USB-C の場合) / 10 V DC (5 A, 65 W, USB-C の場合) / 12 V DC (5 A, 65 W, USB-C の場合) / 15 V DC (4.33 A, 65 W, USB-C の場合) / 20 V DC (3.25 A, 65 W, USB-C の場合) HP ElitePOS ベーシック I/O 接続ベース : 120 W (19.5 V/6.15 A) HP ElitePOS アドバンス I/O 接続ベース : 180 W (19.5 V/9.23 A)

📄 **注記:** この製品は、最低充電量 240 V ms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

動作環境

項目	国際単位系
温度	
動作時（オプティカルディスク書き込み中）	5 ~ 35°C
非動作時	-20 ~ 60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10 ~ 90%
非動作時	5 ~ 95%
最大標高（非与圧）	
動作時	-15 ~ 3,048 m
非動作時	-15 ~ 12,192 m

操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

システムのセットアップや手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 放熱効率を高めるために、モバイルシステム本体および I/O 接続ベースの通気孔の周囲に 17 mm の空間を確保することをおすすめします。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- システムのアクセスパネルを取り外したまま使用しないでください。
- システムを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどシステムどうしを近くに置いたりしないでください。
- システムを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- モバイルシステムおよび I/O 接続ベースに液体をこぼさないでください。
- モバイルシステムおよび I/O 接続ベースの通気孔は、絶対にふさがらないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールするか有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずモバイルシステムの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
 - 外側が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - モバイルシステムの通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずや埃などの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

 **注記：**リテールシステムの手入れやメンテナンスについては、HP の Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスして、『Retail Point of Sales Systems - Routine Care and Maintenance』（リテール POS システム：日常の手入れおよびメンテナンス）を参照してください。

タッチスクリーンのメンテナンス

ディスプレイとタッチセンサーは清潔に保ってください。タッチセンサーは、ごくわずかのメンテナンスしか必要としません。タッチセンサーのガラス製の表面部分は定期的に清掃することをおすすめします。清掃の前に、必ずディスプレイの電源を切ってください。通常、タッチセンサーに最適な洗浄剤はイソプロピルアルコールと水を 50 : 50 に混合した溶液です。タッチセンサー上では腐食性の化学薬品は使用しないように注意してください。酢をベースとする溶液は使用しないでください。

柔らかく、糸くずの出ない布でできたクリーナーを使用してください。ざらざらした布は使用しないでください。常に布を湿らせてからセンサーを清掃してください。布やセンサーには洗浄液を吹きかけないでください。洗浄液がディスプレイの内側に垂れたり、ベゼルを汚したりする可能性があります。

MSR のメンテナンス

磁気ストライプリーダー (MSR) を清掃するには、標準のクリーニングカードを MSR に数回通してください。標準のクリーニングカードはオンラインで購入できます。また、油分を含まない薄い布をクレジットカードに被せて、清掃に使用することもできます。

プリンターの清掃

使用中のプリンターの向きが原因で、カッターから出る紙片などのごみがたまる可能性があります。プリンター内のごみを定期的に清掃して、プリンターが正常に動作するように保つことをおすすめします。

プリンターを清掃するには、カバーを開いてロール紙を取り外し、圧縮空気入りの缶を使って底面プレートにたまっているごみを吹き飛ばします。

I/O ポートの清掃

モバイルシステムには一連のポートがあります。これらのポートに埃やごみがたまると、接続性や性能が低下することがあります。充電式の掃除機を使用して、これらのポートの内部や周囲にたまった埃やごみを取り除いてください。

ドライバーおよびファームウェアの更新

システムパフォーマンスを向上させ、既知の問題を解決し、部品の不要な交換を防ぐために、最新のドライバーおよびファームウェアの更新プログラムを定期的にダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、特定のリテール POS モデルに対応した最新のドライバーおよび BIOS 更新プログラムをダウンロードしてインストールしてください。

運搬時の注意

モバイルシステムを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルをバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけてください。

 **注記**：ハードディスクドライブは、モバイルシステムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管してください。
3. モバイルシステムおよび外付けデバイスの電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にモバイルシステムからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。
6. お買い上げのときにモバイルシステムが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、モバイルシステムとキーボードやマウスなどの外付けデバイスを入れて梱包します。

D ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

I

I/O 接続ベース

- アドバンス、各部 4
- 指紋リーダーの取り付け 26
- 電源の接続 5
- ベーシック、各部 4
- モバイルシステムへの接続 22
- モバイルシステムへの取り付け 21

M

MSR

- 暗号化 39
- 取り付け 17
- 取り外し 18
- メンテナンス 43

う

運搬時の注意 44

か

- 外部電源アダプターの接続 5
- カウンターへの取り付け 27
- カラムプリンター
 - 機能 31
 - 清掃 43
- 適合する用紙のグレード 33
- トラブルシューティング 35
- 用紙の交換 32
- 用紙の仕様 33
- ラッチフェイルセーフ 37

き

機能

- 搭載された 3
- 標準 1
- モバイルシステム本体 2

け

- 警告および注意 15
- 携帯用ケース
 - 取り付け 18
 - 取り外し 19

ケーブル配線の構成 9

し

指紋リーダー

- 単体としての接続 25
- ベースへの取り付け 26

シリアル番号

- I/O 接続ベース 8
- モバイルシステム本体 8
- シリアルポート、電源用の設定 23

せ

- 静電気対策、損傷の防止 40
- セキュリティロックケーブル
 - I/O 接続ベースへの取り付け 29
 - モバイルシステムへの取り付け 30

そ

- 操作のガイドライン 42
- ソフトウェアの設定 38

た

- タッチスクリーンのメンテナンス 43

て

電源ボタン

- I/O 接続ベース 6
- モバイルシステム本体 6

と

動作環境 42

ドック

- オプション 3
- モバイルシステム本体の取り付け 16
- モバイルシステム本体の取り外し 17
- ドライバーおよびファームウェア、更新 43

取り付け

- ガイドライン 15

に

- 入力電源 41

は

- ハンドストラップ、交換 20

ほ

- ポート、清掃 43

も

- モバイルシステム本体の調整 7
- モバイルシステム本体のロックおよびロック解除 16

ゆ

- ユーザーサポート 45

れ

- レーザー規定への適合 41